

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ディスプレイ I Display I		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
カラーコーディネート				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
阿部芳子	社会福祉棟・3F	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要				
ディスプレイテクニックは販売促進活動に必要なビジュアル・プレゼンテーションである。ファッション業界の婦人服・雑貨・コスメ関係のディスプレイテクニックを習得することを目指す。①ラッピング技術を身につけ、②商品展示や陳列③什器の使い方を学ぶことにより、④テーマにあった演出ができるよう知識と技術力を身につける。				
授業の目標				
ショップディスプレイ用語を理解し、ショップレイアウトやディスプレイに関する基本的な作業・技術を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
教室内でのディスプレイ演習はテーマに沿って、個人、グループ別に行い、学内（みかも館入り口）での発表につなげる。現場の視察も組み入れて参考にする。				
学習の成果（学習成果）				
ショップのディスプレイ提案と商品解説を含めた提案力をつけることができる。年間行事に沿ったテーマの提案発表をすることで、各人の表現力を高めることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス ・ディスプレイの分野 ・基本の理解			
第2回目	ラッピングの基礎① [包装品の大きさ、包み方・リボン結び] 実習			
第3回目	ディスプレイ構成の基本 ・マネキン ・オブジェ ・什器の種類と使い方			
第4回目	商品知識、アイテム別（レディス・メンズ） ・ファッション雑貨			
第5回目	ビジュアルプレゼンテーションテクニックの基礎、アクセサリ・婦人服・雑貨 [現場視察レポート]			
第6回目	売り場のカラーとイメージ、色の配色とカラーコントロール			

第7回目	ライフスタイルと空間構成		
第8回目	ラッピングの応用② (アレンジ)	包装紙・布・テープ	[作品提出]
第9回目	ウインドーディスプレイ①	販売促進	・テーマプレゼンテーション [実習]
第10回目	応用テクニック (レディスウエアー)	吊る・ワイヤリング・テグスワーク	[実習]
第11回目	シーズンディスプレイ演出②	・テーマ決定	・演出法研究 [図面提案]
第12回目	シーズンディスプレイ演出	・表現のための準備	
第13回目	シーズンディスプレイ演出	・展示作業	[実習]
第14回目	ディスプレイ製作作業とプレゼンテーション	・テーマ：夏のギフト商品提案	[テスト]
第15回目	ディスプレイ技術の講評	・まとめ	
成績評価の方法と基準			
評価の領域	割合	評価の基準	
授業参加態度	30%	遅刻・欠席がなく、積極的に授業に望み、作業や実習で仲間と力を合わせ、表現することができたか。個人作品は自ら提案することができたか。	
レポート	20%	自ら調べ、内容はしっかりまとまっていたか。	
調査報告書			
小テスト			
試験	50%	完成度の高い内容で表現し、テーマに沿った的確な表現ができたか。仲間とコミュニケーションをとりながら完成させることができたか。	
発表内容 (態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
ディスプレイ・VP・VMD (文化出版局)、ディスプレイのアイディアとテクニック (文化出版局)、その他：写真、資料提示			
履修上の留意点・ルール			
日頃から、多くのディスプレイ展示に興味を持って欲しい。授業に積極的に参加することを望む。			